

○12番 木下雛子君

泉中学校3年、木下雛子です。私は、各学校の設備、校則について、質問します。

現在、学校にある空調などの設備は、市内の各学校によって設備状況にバラつきがあると聞いています。また、校則についても同様です。同じ市内の学校でありながら、統一されていないということは、誰もが快適かつ安全に学校生活を送れていないと私は考えます。同じ市内の学校であるのなら統一すべきだと私は思っています。執行部は、どのようにお考えでしょうか。

○前半議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

木下議員のご質問にお答えしたいと思います。まず、各学校における設備や校則の違いについて説明させていただきたいと思います。

まず、中学校の校則については、中学生らしく、高校入試に臨める身だしなみとして、服装・頭髪等のきまりを定めています。また、校則の内容につきましては、学校の規模や地域の実態に応じた内容を折り込んでおりますので、各地域の特色が反映された校則になっているものと考えられます。さらに、近年では性的少数者への配慮など、時代に合わせる必要もあると考えますし、個性や多様性の尊重に加えて、制服の動きやすさなどの機能性あるいは防寒面を考慮していく必要があると考えております。

次に、設備について回答させていただきます。空調などの学校を運営するために必要な設備についてですが、その大きさや設置の時期こそ違いますが、基本的には全ての学校に設置されています。大きさや設置時期が違う理由について、ご説明します。

まず、各学校に通う児童・生徒の人数が違うということ、次に校舎や体育館の建てられた時期が違うということ、また、建っている地域が違うことなどがあげられます。一例ですが、仲津小学校においては航空自衛隊築城基地が近く、航空機の訓練による音の影響で夏場に窓を開けることができません。そのため、市内の小学校で最初に空調が設置されています。また、椿市小学校については市内で唯一、飲料水や手洗い、プールの水に井戸水を使用しているということもございます。

このように各学校における設備の違いは、児童・生徒数の違いだけではなく、その学校の歴史や地域の特色など、様々な理由によるものということになっております。以上です。

○前半議長 龍山咲良君

木下議員。

○12番 木下雛子君

それでは、現在泉中学校は、生徒は400人以上を超えています。それにもかかわらず、使用している生徒会室や体育館にはエアコンがありません。この機会に設置を検討してはいただけませんか。

○前半議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

ご質問にお答えしたいと思います。泉中学校の体育館や生徒会室へのエアコン、空調の設置についてですが、まず、体育館にエアコンなどの空調設備を設置するのは大規模な工事となりまして、多額の費用や時間がかかるため、すぐに取り組むということは難しいと考えています。そのかわりに大型の送風機やスポットクーラー、スポットヒーターを購入いたしまして、各学校の体育館に設置しておりますので、まずはそちらを有効に活用していただきたいと思います。

また、現在、各学校の校舎や体育館を、今後も長期間使用することができるように、大規模な改修工事を行っていくことも計画しております。そのため、大規模な改修工事を検討している体育館については、その際に空調の設置についても検討していきたいと考えているところです。

次に、生徒会室への空調の設置についてですが、今回、木下議員からの要望も受けまして、教育委員会と各学校で、生徒会室をはじめとする各教室の空調設備の設置状況を改めて調査いたしまして、学校生活をおくる上で必要な環境整備として、その設置に向けて各学校と協議してまいりたいと考えております。以上です。

○前半議長 龍山咲良君

木下議員。

○12番 木下雛子君

もちろん空調については、膨大な金額がかかることは分かっていますが、なるべく早く設置し、より良い、快適に過ごせる学校になることを期待しています。

このような校則や設備についての考えを生徒が届けることができる場がないと思っています。また生徒同士で各学校の設備、校則について、意見を交換する場もないと思います。

そこで、私は、市内6中学校の生徒会代表が集まり、意見を交換する場を設けることを提案します。今は時間さえ決めてしまえば、オンラインで集まることも可能です。また今まで生徒の皆さんが届けることができなかった考えを届けるきっかけになると思います。この機会に意見を交換する場を設けてはいただけ

ませんか。

○前半議長 龍山咲良君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 長尾明美君

木下議員のご質問にお答えしたいと思います。各学校の生徒の皆さんが日ごろから課題意識を持って、他の中学校の生徒と情報交換をすることについては、教育委員会としても大変素晴らしいことだと思っています。

教育委員会としまして、市内中学校の生徒会の皆さんが、意見交換会ができる場が設定できないか、中学校の校長先生方と相談してまいりたいと考えております。ぜひ木下議員からも、学校に相談してみていただきたいと思います。以上です。

○前半議長 龍山咲良君

市長。

○市長 工藤政宏君

木下議員のご質問にお答えしたいと思います。

まず、市制70周年を来年迎えます。その中で、市民の皆様方に参画していただく、参加していただきながら、そしてこの70周年という記念行事等々をやっていききたいという思いがあります。それは年齢、世代といったものは問いません。そういったところでも、ぜひ若い方々にもご参加いただきたい、そんな機会をつくっていききたいと思っています。

もう一つ、市長まちかどトークという仕組みがあります。これを使っていれば、例えば学生さんだけではなくて、私だったり、他の職員なんかも交えてまちづくりについて、あるいは学校のことについて、その時は教育部にも入っていただいたりしてもいいと思います。そういったかたちでも対話といったものができますので、ぜひご活用いただければと思います。以上です。

○前半議長 龍山咲良君

木下議員。

○12番 木下雛子君

前向きな回答、ありがとうございます。早く実現し、より生徒の多くが快適かつ安全に学校生活をおくれることを期待しています。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。